

2023年11月19日

「葛藤を解決する方法」

イエス様の死と復活は、私たちが葛藤を解決する方法にも変化をもたらしました。私たちは、「あなたは義人の復活の時に、お返しを受けるのです」(ルカ 14:14)とイエス様が言われた、その未来にふさわしく生きなければなりません。そのとき、私たちは和解のために喜んで権利を手放し、赦す者として知られるでしょう。

イエス様は何の罪もないのに有罪判決を受けましたが、怒って逆告訴をしたりはされませんでした。人々の前で自分を弁護しようと長々と弁論もされませんでした。裁判中、冷静に短く証言されただけでした。(ヨハネ 18:13)。ただ、真のさばき主に、ご自身を「ゆだね」られました。

イエス様は宇宙のさばき主がご自身を受け入れて下さると知っておられたので、人間の法廷で自分に対して何を言われても、感情的になることはありませんでした。そして加害者たちを神様の御手に委ねられました。

クリスチャンは争いの場においても人を赦す過程においても、イエス様を見上げなければなりません。私たちは未来のさばき主として来られるこの方が、すべてに報いて下さることを知っているのです、安心できるのです。

過去と現在、すべての面において、イエス様の復活は赦しの鍵であり、壊れた関係を回復するための秘訣です。

月刊誌 リビングライフより

週報

§ 今年の教会テーマ
「恵みあふれる教会」

§ 今年の主題聖句
「私たちはみな、この方の満ち満ちた豊かさの中から、恵みの上にさらに恵みを受けた。」ヨハネ1章16節

〒513-0035 鈴鹿市矢橋町 471-2
宗教法人 日本ネクスト・タウンズ・クルセード
鈴鹿キリスト福音教会
059-383-5145(教会)

本日の礼拝メッセージ 「キリストのからだ」

聖書箇所 I コリント 9:19~23

コリント教会に宛てて書かれた手紙

⇒腐敗した罪深い生活、対立、派閥、信徒間格差があった

教会とは、御霊が働かれるところ

⇒一人一人の「信仰告白も御霊の働き

教会には様々な人の、「賜物」「奉仕」「働き」がある。全て同じ御霊、同じ主、同じ神から来ている…だから優劣はない

① 「一つとして同じからだ」 12~13 節

キリストは教会のかしら、教会はキリストのからだ、信徒はそのからだ（肢体）の部分
キリストに結び合わされ、教会に結び合わされる

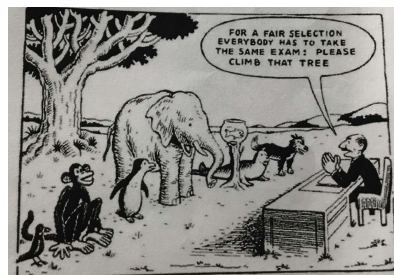
② 「全てが尊く、多様であること」 14~21 節

Q キリストにあって、一つとなった体「教会」を守るために「手放すべきもの」とは…?

*絶対に必要な存在

- ・一人一人が持っている役割がある
- ・一つの物差しで評価されないように

・「それぞれの違い」を尊重



③ 「強みを生かし、弱さを覆う」 22~27 節

- ・互いになくしてはならない者と知る
- ・イエス様の愛し方を学ぶ 26~27 節
「一つの部分が苦しめば、すべての部分がともに苦しみ、一つの部分が尊ばれれば、すべての部分がともに喜ぶのです。あなたがたはキリストのからだであって、一人ひとりはその部分です。」

*教会が一つとなり、世の光として輝く

『分かち合しましょう』

・パウロが、キリストと体に関連づけて説明した理由はなんでしょうか？

・コリント教会はなぜ一つになれていなかったのでしょうか？

・私たちの奉仕は個人戦ではなく、チーム戦です。このチャレンジにどう応えていきますか？

【報 告】

※ 今週の予定

火曜日午後 7 時半から バイブルトーク・ペテロ
水曜日午前 11 時半から バイブルトーク (婦人グループ)
金曜日午前 10 時半から 「つながるカフェ」

※ 来週日曜日の礼拝には例年のように「ギデオン協会」の三重支部メンバーが来会しその働きについての奨励をされます。

※ 来週日曜日は午後からクリスマスの飾りつけと会堂の美化清掃奉仕会をいたします。多くの兄弟姉のご協力をお願いします。